

地域リーダーの声 Part.9

上保木地区資源保全会(下関市)

代表 高山 成人



集落の「絆」の醸成と将来への存続を目指して

その昔から“小日本”の別名を持つ下関市菊川町、この盆地を南北に流れる木屋川に沿って戸数70戸の我が集落『上保木』がある。

殆どが農家で米を中心に僅かにイチゴやハナツコリー等の野菜、酪農、繁殖牛等にも取り組んでいる。農業の担い手はご多分に漏れず高齢に鞭打っての厳しい状況にあるが未だ組織化するまでには至っていない。

しかし近年、定年退職や、親の高齢化で勤めながらも農業に従事する「若い者」が増えつつあることは地域にとっても僅かな光明である。

そんな中で、少しオーバーな表現をすれば地域の存続を掛けて平成19年から農地・水・環境保全向上対策に取り組んできた。

用排水路・ため池の安全確保と寿命延長、環境美化、サポーターづくり

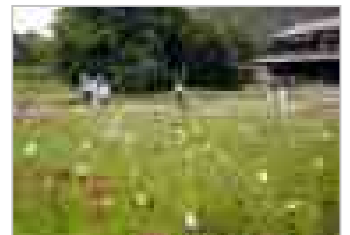
この事業で5年間特に力を入れてきたことは、圃場整備から25年を経て老朽化した用排水路の維持改修である。幹線水路の木製樋門を安全な巻き上げ式に、水取口の堰板を取手付きのステンレス製に改良したり、老朽化の際立つ3カ所のため池及び関連水路の水漏れ防止に役立てることが出来た。

また、地域内に花壇の設置や、木屋川を汚染しない排水対策等も運動として取り組んできた。

本対策の区切りとなる今年は、地区内の今を担う人・農作物や加工品等の物・伝統行事や日常風景といった景観をコンセプトにしたDVDを作成して自治会全戸に配布する計画で準備を進めている。

これの真の目的はDVDをダビングして縁者、知人に配布することで地域外に暮らす上保木出身者にもふるさとを回想して頂くと共にサポーターとして、また、「上保木が自分のふるさと」の思いを将来に繋げていくことを期待している。

農村の危機が叫ばれる中で、この機に上保木も皆様に肩を並べていける集落づくりに努めたいと思っている。



● 平成23年度「農村環境の未来を考える研修会」の開催について

～自然ゆたかで活力ある農村地域を次世代に繋げよう！～

美しい農村地域は、人と自然との持続的な農業の営みによって形成されてきたかけがえのない資源です。この大切な資源を守り、将来に引き継ぐため、農業者だけでなく地域住民が一体となった積極的な活動が全国の多くの地域で取り組まれています。研修会では、活力ある農村地域づくりに取り組んだ農地・水保管理対策「中国四国農政局長最優秀賞受賞」の3活動組織事例等(本年度、中国四国農政局管内において表彰される3活動組織を予定)を紹介し、本対策に取り組む多くの活動組織のステップアップを目的に開催します。



日時:平成23年12月6日(火) 13:30～16:00

場所:山口県総合保健会館

山口市吉敷下東 3-1-1 TEL 083-934-2200

※詳細は、追ってご案内申し上げます。

● 「おいでませ！山口国体・山口大会」花いっぱい運動 展開中



河原地域資源保全会(長門市)



荒小田地域資源保全会(下関市)



宿井環境保全会(田布施町)



佐波木農地保全会(萩市)



長田環境保全チーム(岩国市)



家房環境保全会(周防大島町)

編集・発行:〒753-0079 山口市糸米二丁目 13-35 (水土里ネット山口 4F)

山口県農地・水・環境保全向上対策協議会 TEL 083-933-0755 Fax 083-933-0756

【山口県 農村整備課ホームページ】 農地・水・環境保全向上対策

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17500/noutimizu/hyoushi.html>